

8月9日の長崎祈念式典後、あえてこの日に、玄海町の九州電力「玄海エネルギーパーク」へ行ってみました。

隣は玄海原子力発電所です。無料駐車場、児童公園やバーベキュー施設も併設した広大な施設です。夏休みだからかもしれませんが、招待されたと思われる貸し切りバスから親子

連れが多数到着し、スタッフ総出のお迎え中でした。



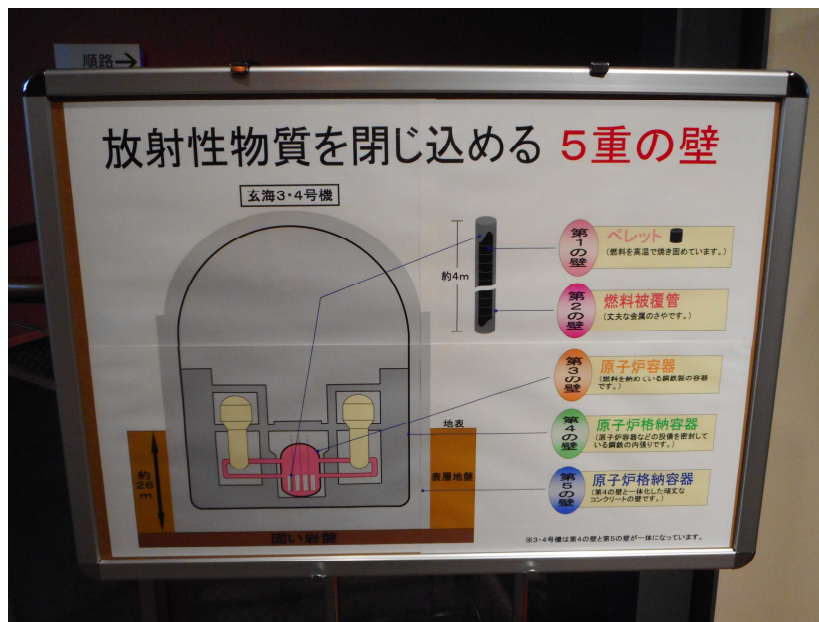
PR館の中には、高さ13メートルの実物大原子炉模型や原子炉シアター、原子力クイズや人力発電ゲームなどを使いながら、一貫して安全性を「わかりやすく」強調。

原子力発電では「止める・冷やす・閉じ込める」が安全確保の大原則であるが、現在、世界最高の規制がなされているので、安全であるとスタッフが繰り返し説明していました。

また、最新のデータもパネルにしてあると標榜しながら、ドイツの2022年までの脱原発

決定など都合の悪いデータは無修正のままです。日本には資源が少ない、地球温暖化から原発は必要という通り一遍の説明も怠りありません。





原子力発電の状況

Nuclear power generation in Germany

2000年に政府と電力会社は将来的に原子力発電を廃止する方向性で合意。2002年には改正原子力法が可決、施行され、翌2003年には初めての原子力発電所の閉鎖を行いました。一方、改正原子力法では、再処理のための輸送を2005年までとし、再処理によって発生したプルトニウムをMOX燃料に加工して国内で使用する事(プルサーマルの実施)を定め、現在、10基の原子炉でプルサーマルを実施しています。2005年のドイツ連邦議会選挙で、CO₂削減等の観点から原子力発電所の必要性を主張する政党が勝利しましたが、脱原子力政策の転換には至っていません。

ドイツの原子力発電所

(ドイツの状況説明)

原発までの道路事情など、身をもって感じ取る価値はあると思います。
 ただし、あの空間は、東電福島第一原発事故発生前そのまま時計が止まっています。